

第2回志布志市松山地域学校統合準備委員会【通学・制服・PTA 部会】 会議の概要

1 開催日時 令和8年2月24日（火）
開会 午後3時30分 閉会 午後4時35分

2 場所 志布志市立尾野見小学校多目的室

3 出席者 部員14名

4 欠席者 部員2名

5 出席した職員等

教育総務課長	児玉 雅史
教育総務課総務施設グループリーダー	橋本 淳二
教育総務課総務施設グループサブリーダー	児玉 憲一
教育総務課総務施設グループサブリーダー	徳重 康成

※ 公開用議事録は、一部修正してあります。

◇ 会議の要旨

1 開 会（午後 3 時30分）

2 あいさつ

3 協議（午後 3 時35分）

(1) 制服、体育服等の取扱いについて

<事務局説明>

部員からの主な意見

ア 令和11年4月から中期課程（5年生～6年生）は、後期課程と同様の制服に移行していくということか。

イ 5・6年生だけが現学校に通いながら新しい制服に新調するよりは、令和11年度に学校が統合してから新調するのが良いのではないか。疎外感を感じることと経済的負担が重なるのではないか。現行の制服と新調する制服が混在していても良いのではないか。新しい制服に新調するかの判断は保護者にしてもらっても良いのではないか。

ウ 松山中学校のジャージは他の学校から比べると評判が良いので、デザインはそのまま素材のみ変えることはできないか。

事務局

ア 令和11年に在校生が一斉に制服を切り替えるのではなく、段階的な移行を考えている。

イ 教育課程については、他の部会において特色ある教育環境として、中1ギャップをなくすために中期課程があった方が良いのではないかとの議論があることから中期課程の制服について提案するもの。

いただいた意見を整理して次回の部会で協議していく。

ウ ジャージ等については、いただいた意見を基に次回の部会で協議していく。

(2) 通学方法、スクールバスの運行基準について

<事務局説明>

部員からの主な意見

ア 各自治会の公民館を停留所にできないか。

イ 学童に預けるためにスクールバスで学童まで送迎することは可能なのか。

ウ スクールバスの乗降管理、運行管理を適切にしないと学校側も負担が大きいのではないか。

エ 距離で基準を設けるのは、安全面・体力面において保護者に不安があるのではないか。特に小学校の低学年が4キロメートル歩いて通学するのは不安がある。

オ 都城志布志道路ができたことで、車の往来も少なく、人通りも少なくなったため、徒歩通学は安全面に不安がある。希望する児童生徒は全員スクールバスに乗せてもらうよう検討してもらいたい。

カ バスの乗降についてアプリを活用するのはどうか。

事務局

ア 幹線道路を運行することを基本としているが、各自治会の公民館を停留所に設定することについては、スクールバスの車種や路線、利用状況を見据えて検討していく。

イ 学童までの送迎は難しいと考える。詳細が決まった段階で協議を進めていく。学童によっては送迎をしているところもあるので、学童との調整も行っていく。

ウ A 中学校のスクールバス事例では、バスの運行担当者を市費で1名配置している。学校側の負担にならないようバスの乗降は、市の方で体制を整えていく。

エ 距離の基準は、いただいた意見を基に次回の部会で協議していく。アプリの活用も事例を調査し、検討していく。

(3) その他

なし

4 閉会（午後4時35分）